

実験棟空調機インバータ更新工事

仕 様 書

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
関西光量子科学研究所 管理部 工務課

1. 工事概要

(1) 工 事 名 称	実験棟空調機インバータ更新工事
(2) 工 事 場 所	量子科学技術研究開発機構（以下「Q S T」という。）関西光量子科学研究所(木津地区) 実験棟
(3) 工 期	契約日から令和7年12月19日（金）までとする。 詳細については、Q S T 担当者と打合せの上決定する。
(4) 工 事 概 要	本工事は、関西光量子科学研究所（木津地区）実験棟内、排風機や空調機のインバータは、製品寿命（メーカー目安10年）を大幅に超えている為、該当するインバータ本体の更新を行うことを目的とする。
(5) 設 計 図	なし
(6) 工事用電力及び水	無償とする。
(7) 別 途 工 事	なし
(8) 管 理 区 域 作 業	なし
(9) 支 給 品	なし
(10) 貸 与 品	なし
(11) 撤 去 品	あり

2. 工事仕様

(1) 共 通 仕 様	本工事仕様書に記載されていない事項については、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の以下の標準仕様書（最新版）によるものとする。 ・「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」 ・「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」 ・「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」 ・「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」	
(2) 特 記 仕 様		
ア. 一般共通事項		
（ア）提出書類	a. 現場代理人・主任技術者選(改)任届	1 部
	b. 施工計画書	2 部
	c. 作業員名簿	1 部
	d. 工程表	2 部
	e. 作業日報	1 部
	f. 工事写真	1 部
	g. 外国人従事者名簿(該当するとき)	1 部
	h. その他監督員が指示するもの	必要部数

(イ) 撤 去 品

撤去品は金属類と建設廃棄物に仕分けして、Q S Tが指定する場所に整理して引き渡すこと。建設廃棄物は、法令に基づき適正に処分を行うとともに、リサイクル可能なものについてはリサイクルに努めること。産業廃棄物の運搬・処理・処分については、あらかじめ廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物処理業許可証等必要書類を提出し、承諾を得た業者で行うこと。マニフェストに基づく伝票（A 票、D 票、E 票）を提出しQ S T監督員の承諾を受けること。

(ウ) そ の 他

- a. 本工事施工の際は、建物、地下埋設物及び室内の器物等を毀損しないように注意するとともに、万一毀損した場合は、Q S Tの指示に従い同等の材料にて速やかに復旧するものとする。
- b. 本工事に使用する材料を搬入するときは、Q S T監督員が指示する位置に整理し、その保管は責任をもって行うものとする。
- c. 構内で作業するときは、下記の規則を遵守しなければならない。
 - (a) 関西光量子科学研究所安全衛生管理規則
 - (b) 関西光量子科学研究所電気工作物保安規程・同規則
 - (c) 関西光量子科学研究所「リスクアセスメント」実施手引書（第 1 章 1.5）
 - (d) その他関西光量子科学研究所関係諸規則
- d. 不測の事態が発生した場合には迅速に対応できるよう、施工計画書に安全衛生管理体制表、緊急時連絡体制表を記載すること。
- e. 工事に必要な諸手続き（法令上及び所内規定）は請負業者の責任において行うこと。なお、詳細についてはQ S T監督員と協議すること。
- f. 本契約において、グリーン購入法に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選定するように努めること。また、本仕様に定める提出書類については、グリーン購入法のその基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。
- g. c. (c) に基づき、Q S Tが推進するリスクアセスメントに協力するものとする。
- h. 本工事は、執務中に工事を実施することから必要な動線の確保と同時に職員等の安全の確保に留意する。事前に現地確認（調査等）を実施し必要な準備をするとともに安全を最優先した工程を組むこと。
- i. 本工事において外国人労働者を従事させる場合は、在留資格、就労ビザ等法令上必要な手続きがされていること。また、安全保障輸出管理規程第 11 条情報セキュリティ対策のため安全輸出管理上の確認を行うことから、休祝祭日含まない 7 日前までに必要事項を記載した従事予定者全員の名簿の提出を行うこと。
- j. 改正労働安全衛生管理規則に基づき、請負業者は「職場における熱中症予防基本対策要綱」による WBGT 指数計を設置する等により必要な熱中症予防対策を行うこと。また、実施する予防対策については g 項により提出する書類に必要な内容を記載すること。
- k. 本工事は、現場代理人を常駐させることとする。

4. 工事内容および
工事種目特記事項

a. 電気設備工事

実験棟小屋裏の動力制御盤の内部にある可変速運転用インバータ装置（以下「インバータ」という。）の更新を行う。

・インバータ FR-A840-5.5K-1 ×1 台

（三菱電機 同等品）

能力	・容量	:	5.5 kW
	・電源	:	3 φ 400V
	・出力周波数	:	0.2～400Hz

・インバータ FR-A840-7.5K-1 ×1 台

(三菱電機 同等品)

能力 ・容量 : 7.5 kW
・電源 : 3φ 400V
・出力周波数 : 0.2～400Hz

・インバータ FR-A840-11K-1 ×2 台

(三菱電機 同等品)

能力 ・容量 : 11 kW
・電源 : 3φ 400V
・出力周波数 : 0.2～400Hz

・インバータアタッチメント FR-AAT24 ×2 個

(三菱電機 同等品)

・適用インバータ容量 : FR-A シリーズ : 11/15/18.5/22 kW
FR-F シリーズ : 15/18.5/22 kW

・インバータ FR-F840-30K-1 ×1 台

(三菱電機 同等品)

能力 ・容量 : 30 kW
・電源 : 3φ 400V
・出力周波数 : 0.5～400Hz

b. 仮設工事

・養生、清掃後片付け ×1式

・運搬、搬入出 ×1式

c. 撤去工事

×1式

d. 試験・検査

×1式

材料検査

外観検査

作動試験（出力電流・電圧・周波数の測定等）

e. 産業廃棄物処理

×1式

(要求者)

関西光量子科学研究所 管理部 工務課
峯岸 宗一郎

－以上－